

今後のスケジュール

花山・芳山地区の人工林を適正に管理・育成しつつ、且つ、県内木造建造物の修理資材の確保などの利活用をより一層進めるため、平成 26 年度（2014）は、適正な管理・育成に向けた具体的な施業内容を検討するとともに、檜皮採取を中心とした文化財修理資材供給の体制づくりを図る。そのため、花山・芳山地区保全・利活用部会では、人工林施業に関する有識者を招聘するとともに、実作業の関係者と檜皮採取にあたっての手続きを整理するなど、より詳細な検討を進めていく。その上で、春日山原始林保全計画検討委員会と調整を図ることで、世界遺産春日山原始林の緩衝帯、風致・景観上の重要な構成要素として花山・芳山地区の森林の価値を高めていくこととする。

花山・芳山地区	平成 26 年度の主な取り組み	部会
適正な 管理・育成	適正な管理・育成に向けた具体的な施業内容を検討 【検討項目案】 ・間伐手法 ・針広混交林への誘導手法 ・文化財補修用資材としての品質確保手法 ・管理・育成への多様な主体の参画手法 等	人工林施業 に関する有 識者を招聘
利活用	檜皮採取を中心とした文化財修理資材供給の体制づくり 【検討項目案】 ・檜皮採取実験（継続） ・檜皮採取体制の構築 ・担い手（原皮師）育成の手法 ・その他地域の檜皮採取可能性の把握 等	実作業関係 者による檜 皮採取手続 きの整理

